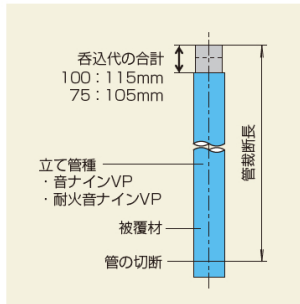


S型モエナイン排水システム施工手順



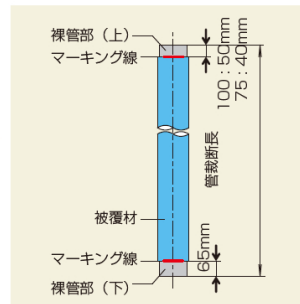
S型モエナイン排水システムの立て管には、
音ナインVP、耐火音ナインVP以外は使用できません。

①立て管の裁断



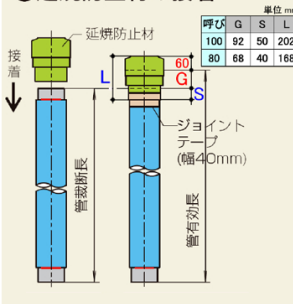
立て管（音ナインVP又は耐火音ナインVP）の防音材を、一方の端面から上下の呑込代の合計分（呼び100:115mm、75:105mm）を片側にスライドさせ、裸管側の管端から管裁断長の位置で被覆材ごと管を切断する。

②呑込代のマーキング



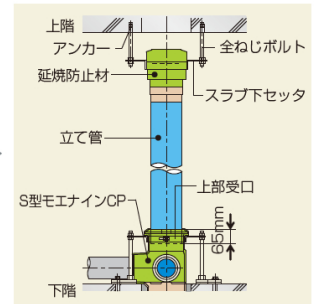
裸管部（上）に呑込代（呼び100:50mm、75:40mm）をマーキングする。
裸管部（下）に呑込代（呼び100、75とも:65mm）をマーキングする。

③延焼防止材の接着



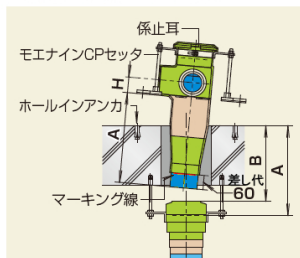
延焼防止材のソケット内面と裸管部（上）の外周面に接着剤を塗ってから、マーキング線まで挿入接着する。
管有効長＝管裁断長＋G
ソケットと立て管との接続部には、**ジョイントテープ（幅40mm）**で1周以上覆う。

④立て管の配管



下階のS型モエナインCPの上部受口に、立て管の裸管部（下）のマーキング線が隠れるまで挿入する。立て管を直立させ芯出しを行った後、立て管上端部に取り付けした延焼防止材の所定位置にスラブ下セッタを装着し、スラブ下面に設けたアンカーから全ねじボルトで係止する。

⑤継手本体の位置決め

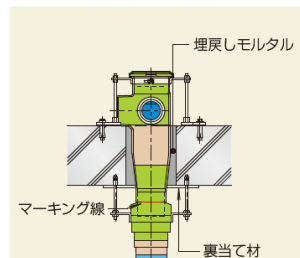


【寸法表】
MH.CP60S：継手被覆なし MCP60S：継手被覆あり

呼び	A	B	H
100	379	319	60
80	322	262	51.5

横枝管の芯高さHが下表の寸法になるように、モエナインCPセッタの高さを調節する。同セッタのバンド部が継手上部の係止耳に当接するように取り付ける。スラブ下の立て管受口に、予め付けたマーキング線（本体直管部端面から60mm）が隠れるまでスラブ上から継手直管部を挿入する。

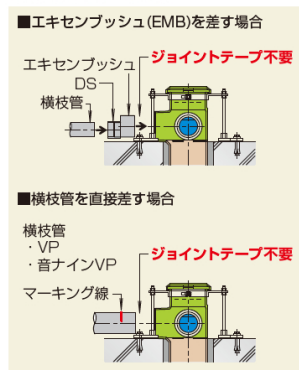
⑥スラブ開口の埋戻し



スラブ開口の下側から裏当て材を当てて、モエナインCPと開口部との隙間にモルタルを充填する。裏当て材はモルタルが硬化後取り外す。

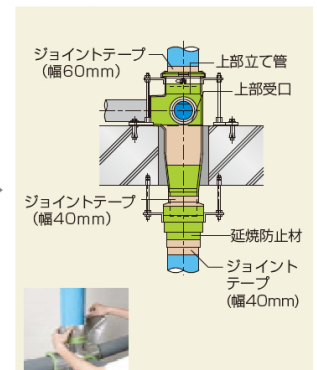
モルタルは、
セメント：砂＝1：3（容積比）

⑦横枝管の接続



横枝管受口にVP、音ナインVP、エキセンブッシュを接続する。横枝管には、予めマーキング線（横枝管端面から58mm）を記し、その位置まで挿入する。エキセンブッシュの箱に記載の「施工手順」および「施工上のご注意」を守って施工して下さい。

⑧ジョイントテープ巻き



継手の上部受口と上部立て管との接続部には、ジョイントテープ（幅60mm）で1周以上覆う。継手の下部直管部と延焼防止材との接続部には、**ジョイントテープ（幅40mm）**で1周以上覆う。
横枝管受口と横枝管およびエキセンブッシュの接続部にはジョイントテープは不要【S型モエナイン限定】



使用上のご注意

- 各接続部は漏れのないように、確実に施工してください。
- モエナインCPIに挿入するパイプは端部を必ず面取りし、マーキングにより挿入深さを確認してください。
- 延焼防止材は分解しないようください。
- 延焼防止材は、落下等により変形したものは使用しないでください。

発売元

水とくらしのグッドパートナー
株式会社 小島製作所

シーシーアイ株式会社

本社 〒454-0027 名古屋市中川区広川町 5 丁目 1 番地
TEL.052-361-6551(代) FAX.052-361-6556
IP 電話 050-3535-8295(営業)

本社 〒501-3923 岐阜県関市新迫間 12 番地
TEL.0575-24-4798 FAX.0575-24-4176

首都圏 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-17 朝日ビル4階
コアセンター TEL.050-3732-9412(IP 電話)
MCC FAX.03-5652-6355 E-mail mco@kojima-core.co.jp